

平成24年8月31日

発行所

新潟県看護連盟

新潟市中央区川岸町2-11

新潟県看護研修センター内

TEL 025-266-2360

FAX 025-266-2322

E-mail:yuki@niigata-kangorenmei.jp

編集責任者 二階堂一枝

印 刷 所 (有)フジプリント

TEL 025(244)0638

FAX 025(245)6587

躍動する新潟県看護連盟

ゆきつばき

第43号

看護の力が
日本を元氣にする



目次	● 第23回 参議院議員選挙候補予定者 「石田まさひろ4つのアピールポイント」..... 2	● 会長あいさつ..... 6	● 平成24年度日本看護連盟通常総会..... 7	● 新旧役員挨拶..... 10~11
次	● ホップ(支部集会・施設訪問)..... 3	● 名誉会員お芽出度うございます..... 6	● 平成24年度新潟県看護連盟通常総会..... 7	● お知らせ・看護連盟入会のお願い.... 12
	● 県看護行政に対する要望書を提出しました..... 6	● 国会議員だより・あいさつ..... 8		
	● 研修会に寄せられた感想..... 9			

第23回 参議院議員選挙候補予定者

石田まさひろ 4つのアピールポイント

政策通

政策づくりの基本現場からの発想、そしてスピード感。「現場がどう変わったか」を実証し、次のステップに導いていくこと。

確かな実行力

看護師として、最先端の病院づくりに関わった。日本看護協会では、保健師助産師看護師法改正や診療報酬改定等をリード。日本看護連盟では、全国選挙を勝利に導く。



未来への熱い情熱

44歳、働き盛り、思春期真っただ中の2人の父親。若手看護師から慕われる兄貴分。

多彩な分野への広がり

趣味は神社巡りと魚の飼育。看護や医療に限らず、経済、文化、教育、国際問題にも関心を持ち、独自の発想を広げてきた。



石田まさひろを応援しましょう!



石田まさひろ政策研究会会長
大島 敏子

石田まさひろさんは、15年位前に看護協会の政策企画室に勤務していた頃、私と一緒に診療報酬の勉強会をしていた時の中心的人物でした。その頃から現在まで、社会の中で看護が正しく評価されるために考え方行動し続けています。情報収集能力・分析力抜群で現場志向の石田まさひろさんの看護の未来を創る熱い情熱を応援しましょう。

石田まさひろ

昌宏
プロフィール
1967(昭和42)年、奈良県大和郡山市生まれ
兵庫県の甲陽学院高等学校卒業
東京大学医学部保健学科卒業
看護師として聖路加国際病院、東京武蔵野病院で勤務
衆議院公設秘書を経験
日本看護協会では政策企画室長などを務める
日本看護連盟では幹事長などを務める



「石田まさひろダイアリー」
看護の最新情報を毎日チェックしよう!!

ホップ

平成24年4月21日・24日 石田さん来県

(支部集会・施設訪問)一看護を熱く語りましたー

佐渡支部会場:厚生連佐渡総合病院



若い参加者も熱心に聞きました。



集会終了後、イルカのモチーフの前で。

長岡・県央支部会場:長岡赤十字病院 講堂



施設、豪雪の中の訪問活動など幅広い看護の発表がありました。



柏崎支部会場: 厚生連柏崎総合医療センター



職員確保の具体策を即実行へ!!

新発田・村上・新潟(東・西・南・中央) 支部会場: NSG学生総合プラザ STEP



石田さんを励まし
参加者も燃えた。



魚沼・南魚沼支部 会場:JA越後おぢや グリーンパーク



大勢の仲間と錦鯉も迎えてくれました。



上越支部会場: 新潟労災病院 講堂



赤いタイで盛り上りました。

看護政策推進集會

石田まさひろ
新潟に
きました。

「石田まさひろと看護の未来を語ろう」

■日時／平成24年7月31日(火)

■参加者／延182名

県立松代病院 阿部 春江

石田まさひろさん入場では、新潟佐渡おけさの編笠と共に全員の拍手で迎えました。石田さんは、ポスターイメージよりイケメンで、友人は神田正輝に似ていると言いましたが、私は韓流好きでチ・ジニ似の超イケメンと思いました。石田さんは、スピーチでやりがいのある仕事をして、看護を元気にしていく話をされました。その1つとして現在どこの病院でも高齢者の認知症患者を看護しながら、重症者や急性期患者の看護を行っている。認知症患者は、転倒などのリスクが高く目が離せない。そこでOB看護師が、認知症患者の話し相手や、車イス散歩などしてくれたら病棟看護師は、重傷者や急性期看護に専念することができる。OB看護師は、70歳以上のアルバイトで雇用促進にもなる。一石二鳥である。朝の忙しい時間帯に出勤して認知症患者の話し相手になってくれる。看護はもっと安全にかつ安定して提供できる。など、笑いを交えながら話された。こんな発想が現実化し、私の職場も楽しく改善ができたら良いと思いました。意欲的な考えに感動いたしました。

日々困難なことはあっても、若い看護師達が誇りと夢を持ち、離職することなく働きつづけられるよう国政において御尽力いただきたいと思いました。次期参議院選挙をともにがんばりましょう！



会場風景

真赤なウチワで熱く応援

支部と会場が一体になりました。

握手で熱い
エールを送りました。



7月31日

施設訪問

—熱い応援のメッセージを
伝えました—

桑名病院

今日はよい看護をし
たと思えるように!!

**新潟臨港病院**

若いナースの声を
聞きました。

南浜病院

赤い手袋で石田さん
を励ました。

**松浜病院**

精神科看護の苦労を
伝えました。

新潟脳外科病院

若い人が生きがいを
持てるよう!!

**白根大通病院**

事務担当職員も
かけつけて。

厚生連新潟医療センター

老健施設の実態も
伝えました。



新潟県看護連盟会長
二階堂 一枝

熱い思いを伝え続けていくう

会員の皆様には日頃のご支援、ご協力を心より感謝申し上げます。

平成24年度県看護連盟総会は6月23日におかげさまで無事終了いたしました。

「ベッドサイドから政治を変える！」一看護職の代表を熱伝導で国政の場へーのスローガンのもと、力を結集して活動を進めていくことを満場一致で確認いたしました。

本県に石田まさひろさんを迎えての集会は、4月に支部単位の「看護を語る会」、7月の施設訪問や「看護の未来を語ろう」など延3日間実施いたしました。支部長を始め多くの方々のご協力ありがとうございました。参加者が石田さんの姿に触れ、主張を理解する機会になりました。いのちと暮らしを守るために「政治の場に看護の代表を送り出す!!」とのエネルギーが赤いイメージカラーと一緒に皆熱く燃えました。石田さんに会った会員は、その主張を周りの仲間に熱く伝えていますか、応援名簿の提出はお済みでしょうか。

来年7月に向かって、会員1人1人が責務を果たしてまいりましょう。

●名誉会員お芽出度うございます●

顧問（前新潟県看護連盟会長）小山静枝さんが、平成24年度日本看護連盟総会において、名誉会員となられました。永年のご苦労に感謝し心よりお祝い申し上げます。

県看護行政に対する要望書を提出しました。

平成24年7月9日（月）自由民主党新潟県看護対策議員連盟通常総会が開催され、看護協会役員とともに出席いたしました。

議員連盟の会員全員が出席され、盛大な総会でした。看護連盟活動を紹介し、協会長と連名で県看護行政に対する要望書（下記参照）を渡辺看護対策議員連盟会長にお渡しいたしました。看護職員の確保など喫緊の課題も多く意見交換も活発に行われました。



自由民主党新潟県看護対策議員連盟
会長 渡辺 悅夫 様

新潟県看護行政に対する要望について

公益社団法人新潟県看護協会
会長 佐藤 たづ子

新潟県看護連盟
会長 二階堂 一枝

要望事項

- 1 看護職確保定着対策として、早期離職防止につながる新人看護職員研修支援体制整備と看護職の労働環境改善に対するさらなる支援
- 2 訪問看護事業所・介護保険施設等の職員の質向上に対する支援と複合型サービス設置推進に向けた支援

日本看護連盟 通常総会

■日時／平成24年6月15日(金)

■会場／東京プリンスホテル

上越地域医療センター病院 平井 正博

全国の会員・関係者が東京プリンスホテルに集まり、会場は熱気が立ち込めておりました。席に着き全体を見渡すと、思っていたより若い人が多くびっくりしました。それ以上に感じたのは、男性会員が目立っていたこと。「同じ同性会員がこんなにも多くこの総会に出席している、次期参議院選挙候補予定者、石田まさひろさんの応援に集まってきたのか？これが熱伝導か！」通常総会後の決起大会は、会員の熱い思いが爆発。『看護職の代表を国政の場に必ず送り出す』全国の看護連盟会員と一致団結した瞬間を感じることができました。出席させていただきありがとうございました。

* * *

厚生連長岡中央総合病院 風間 栄子

全国から1,722名の連盟会員が、一同に会した総会は熱気があり、その場の空気に圧倒されるばかりでした。

連盟の活動の目標は鮮明に伝わり、第23回参議院議員選挙の候補者に「石田まさひろ」氏が承認され、連盟が次なる目標に向かって歩き始めた



清水会長挨拶

事を実感しました。参加者の年齢は高いと予想していましたが、若い世代が多く頼もしく感じると共に、この若い世代が“看護職の働く環境を整えていく”ために石田氏を政治に送る原動力となることを実感して、もっと多くの若い世代の連盟加入に力を注がなければならぬと思い帰路につきました。

新潟県看護連盟 通常総会

■日時／平成24年6月23日(土)

■会場／新潟市民プラザ

■出席者数／327名



大勢の代議員、会員の参加で盛大に



議長団選出

スローガン

「ベッドサイドから
政治を変える!」

一看護職の代表を
熱伝導で国政の場へ—

特別講演

「夫の看取りから見えてきた 看護の課題」

講師：聖路加看護大学名誉教授・前日本看護連盟監事 岩井 郁子



佐渡市立両津病院 伊里あさの

「現場の声」の集計結果では、看護要員の不足が過半数以上を占めており、この問題は、個人の努力、施設の努力だけでは変えることができず、法律制度を変えないといけないということが分かりました。そして、看護職の数が足りない状況では、モチベーションの低下を招く恐れがあり、患者や患者を取り巻く家族を守るために、「ベッドサイドから政治を変える！」のスローガンを高く掲げ、看護職の代表を熱伝導で国政の場に必ず送り出す必要があるということを痛感しました。

また、特別講演での岩井郁子先生のお話から、「看護を必要とする人に」「その人らしい生活が出来るように」、「身体的、精神的」はもとより、「社会的側面」から支援ができるために、政策が必要となるということを学びました。

この総会で学んだことを現場に持ち帰り、会員が少しでも増えるよう尽力していきたいと思います。

厚生連栃尾郷診療所 岩渕 明美

看護について、改めて考えることができた貴重な講演でした。普段あたりまえに行っている清潔にすること、食べること、排泄すること、眠ることなど生活行動が病気等でできなくなった患者さんに、その人らしく生活できるように医師よりも長い時間、患者さんの側にいる看護師は専門的な知識と技を持って援助していくこと、気が付き、さりげなく声をかけ、手を差し伸べ、一つ一つを整えていくことが患者、家族が望んでいる大切な看護ではないかと改めて思いました。

専門職として、質の高い生活行動援助、看護を提供するためには、個々の力量だけでは限界があるので、数の確保が必要だと強く思います。岩井先生が話されたように、7:1看護で満足するのではなく5:1看護が実現できるように看護の問題の解決に向け現場から声をだしていかなければならないと思いました。

国会議員だより



衆議院議員
あべ 俊子

新潟県看護連盟の皆様、こんにちは。いつも温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。さて、第180回通常国会は会期を延長し、社会保障と税の一体改革をはじめとした日本の将来に大きな影響を与える政策の議論が続いています。国民にとって本当に有益なものとなることを目指し、真摯な姿勢で臨む毎日です。

また一方で今国会では、看護職の労働環境の改善といった日々の看護に直結する課題をはじめ、医療における患者の意思決定のための法整備（尊厳死法案）や女性が仕事と家庭を両立するための施策（学童保育の法的整備）のような、看護職を取り巻く諸課題に対してもこれまで以上に精力的に邁進してまいりました。すぐに実を結ぶことはなかなか難しいのですが、「千里の道は一歩から」の言葉にもあるように、一つ一つの課題に対して引き続き丁寧に取り組んでまいります。

そしていよいよ来年は参議院議員選挙の年となります。国政に皆さんのお願いを託すことができる看護の仲間をもう一人増やせるよう、候補者である石田まさひろさんへの温かいお力添えを心よりお願い申し上げます。



参議院議員
たかがい 恵美子

新潟県看護連盟の皆様、こんにちは。

たかがい恵美子は、皆様方の熱いお支えを励みしながら、日々の政務に精進させていただいております。早いものでこの7月からは、参議院議員として3年目の活動を始める運びとなりました。これもひとえに、皆様方のご厚情の賜と深く感謝申し上げます。

参議院では、7月中旬から社会保障と税の一体改革関連法案の審議が始まり、私も特別委員会の一員として審議に臨んで参りました。これからも、看護職として培った目線で社会保障の課題解決に向けた前向きな提案を心がけて参ります。

看護は「ひとの生きる力を守り支える技」であり、政治は「社会の生きる力を創り出す仕組み」だと、私は捉えています。看護職は社会保障の実現者として、常に国民の暮らしに直結する場所で、いのちの始まりを受け止め・いのちを支え・最期を看取る使命を果たしています。

看護職一人一人の地道な活動の積み重ねが社会保障の実現に大きな成果を挙げていることを、広く社会の皆様に理解して頂き、応援して頂けるようになるため、もっと仲間を増やしていくかなければなりません。その絶好の機会が来年の夏にまたやってきます。皆で心を一つに進んで参りましょう。

「ゆきつばき」によせて



日本看護連盟会長
清水 嘉与子

平成24年度日本看護連盟総会で次期参院選候補予定者の決定がなされ、来年夏に向けての活動方針が承認されました。新潟県看護連盟総会でも如何に「石田まさひろさん」の支援の輪を熱伝導で広げていくか真剣に議論が進められたことと存じます。

野田政権が政治生命をかけて取り組んだはずの税と社会保障の一体改革法案なのに、衆議院での採決を機に与党が分裂てしまい、永田町は緊迫した状況を迎えていました。将来の社会保障政策は超高齢・少子社会に向かって進んでいるわが国ではどの政権でも最大の政治課題です。長い間この分野で活躍してきた看護職の知恵や経験を適正に政策に反映させること、さらに看護職の働く環境の改善を進めることなどをみんなで力を合わせて石田まさひろに託そうではありませんか。ますます暑い夏になります。節電の夏ではありますが、熱中症にはくれぐれもご注意の上ご活躍くださいますように。

公益社団法人としてスタートいたしました。

今年4月1日、新潟県看護協会は公益社団法人として、力強く新たな一步を踏み出しました。これは1万5千人余りの会員の力です。

新潟県看護協会は公益法人としての事業を展開することで看護の質向上、働き続けられる環境づくり、看護領域の開発展開を図り、県民の保健・医療・福祉に寄与することを目指しています。

今、看護界では課題が山積しています。

看護職の働く環境を改善し、働き続けられる環境を整える事、看護師特定能力認証制度に代表される看護職の役割拡大の問題、在宅ケアの質向上と人材確保の問題、2025年問題を見据えたからの看護等々。

どれも喫緊の課題であり、一つ一つを日本看護協会は政策提言しています。

これらが一つ一つ実現していくためには、看護職の代表による国政の場での活躍が重要になってきます。

看護連盟の皆さまのご活動が重要であり、また看護界初の男性議員の誕生は頼もしく、看護の大きな夢が実現すると信じています。

看護界が抱えます多くの課題解決に向け、さらなる前進となるよう看護連盟の皆さまのご活躍を期待しています。

研修会に寄せられた感想

—多くの学びと感動がありました—

看護研修会

「看護新時代」
—診療報酬改定時期に考える看護力—

講師 日本看護連盟副会長 大島敏子

■日時／平成24年2月25日(土)
■会場／新潟青陵大学
■参加者／123名

県立小出病院 駒形玲子

南魚沼市から新潟市まで年度末の忙しい時期、しかも大雪で足元も悪い中、半分は学習のためもう半分は勤員気分で出かけていった。そんな気分は大島敏子先生の講演を聴いて吹っ飛んだ。牡丹色のスーツ、黒のインナーにパールのネックレスをばっちり決めて、ジャパネットタカタの社長も舌を巻くような流れる話術。看護職員の置かれている状況から診療報酬の話まで、すっかりのめり込んで聴いてしまった。常日頃もんもんと頭の隅に感じていた看護職の問題。自分ではどうしようもないと思っていたが、連盟の活動が解決の方向に問題提起、活動しているのだとわかり、心がスッキリできた一日となった。

第5回ポリナビワークショップin新潟

第1部 体験「心と体のセルフメンテナンス」

第2部 グループワーク～悩みや迷いを明日の糧にしよう～

第3部 「看護連盟の役割を知っていますか？」

講師 ボディワークスタジオ Garage-1主宰 水科江利子

■日時／平成24年7月14日(土)
■会場／NICOプラザ
■参加者／108名

桑名病院 前田麻美

第1部ではちょっとした時間にできるストレッチを実際に体験して、そのあとには、すっきりして効果を感じることができました。また、講師からのお話しで、メールできた文章を読んでもらい、とても感動しました。ペアの人と、話したり、楽しい時間が過ごせました。講師から、実際の現場でも使えるような、言い方をいろいろ教えてもらって良かったです。

第2部では、新人だけのグループで、悩みや不安を話し合うことができました。みんなも同じことを思っているんだなあと感じることができました。話することで、少しうまくなりました。

＊＊＊

三条市医師会准看護学院 長谷川政憲

第1部では、日頃の疲れを癒す筋膜マッサージを学び、他の参加者と言葉と体を使ってコミュニケーションを図り、和気あいあいとした雰囲気で行う事が出来ました。

第2部のグループワークでは、看護学生の私にとって学校での授業だけでは知る事の出来ない新人看護師

の喜びや悩みを聞き、仕事の厳しさを感じた反面、看護師になりたい思いがより一層強くなりました。

最後の看護連盟会長の講演では、現場の問題を解決するために一人一人が行動し、働きやすい職場環境を作る必要性を感じました。

今回のワークショップに参加し、自己啓発となつと共に、看護師との交流を持つ機会が得られ貴重な経験となりました。



高齢者の医療を考える研修会

講師 原町赤十字病院第一外科部長 内田信之

■日時／平成24年8月4日(土)
■会場／万代市民会館
■参加者／142名

医療法人 斎藤記念病院 高橋友佳

胃ろうという方法は生きていくためには必要だと考えるが、家族・患者にしてみるとどうなのだろうかと思った。仕事をしていると、点滴が入らなくなるとすぐに経管栄養と思ってしまう。しかし、当事者にしてみるとなぜと思っているかもしれない。講演の中で入院10日目に主治医から説明がありとあったが、10日は早いと思ったが、患者・家族が今後を考えていくにはむしろ遅いのかもしれないと思った。自分自身経管栄養は仕がないと思っているところもあるが、仕がないと思うのではなく、患者・家族と話し合いをしながら、胃ろうは一つの方法だと説明できるようにしたい。そのためには、胃ろう患者の事、胃ろうについて学んでいきたい。様々な事を考える講演になった。

退任役員挨拶

新潟県済生会三条病院 目黒 弘子

看護連盟役員をこの総会をもって退任させていただきます。先輩役員の皆様と共に研修会の企画をさせていただきました。6年の間に研修会も随分変わりました。最近の研修は、日頃の看護に役立つ身近なテーマで企画し、会員だけでなく非連盟会員の方から多くの参加をいただき大変嬉しく思っております。研修会は看護連盟の活動を知っていただく機会でもありますので、これから多くの方から参加していただけるようよろしくお願ひいたします。役員活動を通して多くの方からご指導を頂きました事に深く感謝申し上げます。

＊＊＊

中央看護専門学校（元柏崎総合医療センター） 横山 晶子

短い期間ではありましたが、広報委員としてゆきつばきの編集、ホームページのレイアウトの検討などをさせていただきました。委員の仕事を通じて、新潟県看護連盟を支えている役員の御苦労や情熱を知ることができました。十分な働きはできませんでしたが、多くの学びを得ることができました。これからは、一員として協力をていきたいと思います。ありがとうございました。

ご逝去のお知らせ

平成20～22年度の3年間にわたり県連盟の幹事を務められた田中里子さん（新潟臨港病院）が、5月4日逝去されました。

心よりご冥福をお祈りいたします。

高田福祉会 笛吹の里 小川 愛子

一員として長く加入しておりましたが、役員としては初めてであり、諸先輩の労苦をしみじみと感じた3年間でした。

なかなか思いが伝わらず会員増に繋がらないもどかしさ、連盟発足時の経過を知るものとして力不足を感じたところでした。

幸い22年選挙では皆の熱い思いの下、最良の結果を残すことができました。

私は研修委員として、協会とは切り口の違う研修をという事で企画しましたが、これも参加者は多いが会員増へ結びつかないのが悩みでした。

しかし地道な努力が会員増へ繋がると確信しております。

もう来年は選挙の年です、素晴らしい候補も決まりあとは前進のみです。今後は一員として応援します。

お世話になりました役員の方々、会員の皆様に感謝いたします。有難うございました。

＊＊＊

医療法人 愛広会 本部 山本 迪子

6年間の任期を終えほっとしています。連盟組織がしっかりとしていく中で、連盟活動の重要性を実感致しました。

活発な連盟活動の為には会員の増加が必要です。その一助にと、研修委員会では研修のテーマを興味深い、業務に役立つものをと考え、多くの方に参加して頂く事ができました。そこで毎回会長から連盟活動の大切さを説明して頂きました。すぐに会員増とはいきませんが、理解して下さった方も多いので、今後に期待したいと思っています。

支部での取り組みもしっかりしてきたので、これから的新潟県看護連盟の活躍に期待しています。

皆様に支えて頂き任期を終える事ができ、感謝しています。

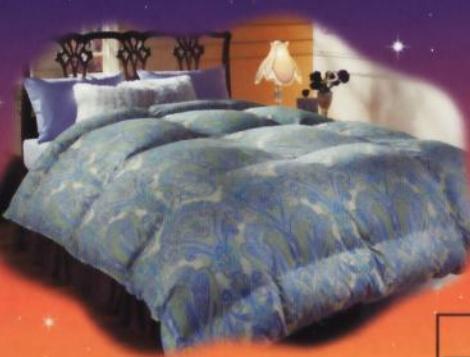


お帰りなさい、行ってらっしゃい。

東洋羽毛の羽毛ふとん

Since 1954

TUK 東洋羽毛北関東販売株式会社
新潟営業所 **F0120-300060**
〒950-0943 新潟県新潟市中央区女池神明3-13-2
www.toyoumo.co.jp



新役員・支部長就任挨拶



幹事

OB会員 松田 玲子

昨年の大震災以来、気持ちのあり様が今までと違つて來た。

退職してのんびり過ごそうと決めていたのだが、体力のあるうちにできる事はしなくてはと考えるようになった。今回、下越地区の役員を引き受けたのは、そんな思いからである。

諸先輩の皆様が長年かけて築いてくれた、看護職の働く環境の改善や制度改革、社会的地位の向上を更に発展させて行く事が必要と思っている。現場にいるころ、看護連盟の力を理解してくれる人が少なく残念に思っていた。先輩の功績を語り継ぎ、多くの理解者が増えるように3年間微力ではありますが、頑張っていきます。御支援よろしくお願ひします。

幹事

厚生連柏崎総合医療センター 星 久代

医療現場では、高度医療に伴う複雑な治療、高齢化に伴う認知症や不穏症状になる患者等で看護師は常に走りまわっています。看護師達は、「もっと患者に寄り添った看護がしたい」と思ってもなかなかできない状況です。看護の質を高めるには人員配置や労働環境等の改善が必要です。そのためには看護職組織から国政に参加してもらい、医療制度をかえる必要があります。

一人でも多くの看護師に政治に関心を持ってもらうためにみなさんと協力していきたいと思います。

幹事

厚生連三条総合病院 早川恵里美

この度、新潟県看護連盟役員をさせていただくことになりました。

先日行なわれました県看護連盟総会において、岩井

郁子先生がお話をされた「看護の質とは何か。政策によって大きく影響を受ける」という言葉が心に残っています。

私たちの看護実践…理想と現実のギャップを感じながら日々奮闘しています。そのギャップを少しでも無くせるように、看護の使命が果たせるように、政治的発言力を持つよう連盟の力が必要なのだと強く認識しました。

初めての任で右も左もわからない状態ですが、与えられた役を果たせるよう努力していきたいと思います。

長岡支部長

長岡西病院 渡邊 真美

今回、長岡地区支部長という大役を務めさせていただることになりました渡邊です。

この度初めて連盟活動に参加し、看護の職場環境改善のためには連盟活動が大切であることを改めて実感しました。

看護界が抱える多くの問題解決に向け、ベッドサイドから政治を変えるの「声」を国政に繋げていくために、石田まさひろ先生を国会に送るため微力ながらお手伝いをさせて頂きたいと思います。宜しくお願ひいたします。

佐渡支部長

厚生連佐渡総合病院 望月 結花

今年度より、支部長として看護連盟に関らせて頂くこととなり、まだまだ不安で一杯の日々を過ごしています。現在は病棟勤務をしていますが、看護師が看護師本来の仕事に自信を持ち、またやりがいを持って取り組めるような現場になるにはどうしたら良いのかと考える日々もあります。看護職者が生き生きと輝いて仕事ができる事がひいては患者様に対してのより良い看護につながるのではないかとも感じています。そのためには法の整備・制度化は大切な事だと思いますが一足飛びにできるものではありません。看護の現場をまず様々な人に知って頂き関心を持ってもらう事、地道でもまずはこの事を丁寧に継続ししていく事が必要なんだろうと感じ、のために自分の出来る事が何かを考えながら、会員の皆様とともに頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。



ホルミシス立体枕

マイナスイオンを
1300/cc以上出し続ける



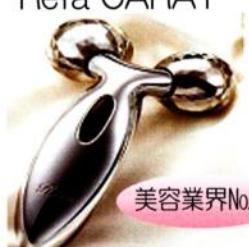
家庭用 ラジウム温浴器

GTR



ラジウム温浴効果で知られる秋田の「玉川温泉」などでは、年間を通して湯治や健康維持を目的とした人々が数多く訪れています。

プラチナ電子ローラー Refa CARAT



美容業界No.1

Grand Feather グランドフェザーニューガタ株式会社

〒940-0044 新潟県長岡市住吉1丁目5番17号 TEL 0258-33-3208 FAX 0258-33-3210 Email gf-niigata@ac.auone-net.jp

今後の石田まさひろ遊説(集会および施設訪問)計画

☆ステップ日程

開催日	時間	開催地域(担当支部名)	開催日	時間	開催地域(担当支部名)
平成24年 11月7日(水)	午前	佐渡	平成25年 2月16日(土)	午前	長岡
	午後	新発田・村上		午後	県央
平成24年 11月12日(月)	午前	新潟中央		午後	新潟市
	午後	魚沼	平成25年 4月10日(水)	午前	上越
	午後	南魚沼		午後	柏崎

☆ジャンプ日程

開催日	時間	開催場所
平成25年 6月18日(火)	午前	新潟県総決起集会 (東映ホテル)
	午後	新潟県看護連盟 通常総会

詳細は別途ご案内いたします。
大勢のご参加をお待ちしております。一人でも多くの
方に石田まさひろをご紹介ください。

研修会のお知らせ

日 時	会 場	研 修 内 容	講 師	受 講 者
9月11日(火) 14:00~16:30	NSG学生総合 プラザ STEP	リーダーセミナー 「看護連盟活動の重要性を知り、会員の増加と参加を促そう」	日本看護連盟 常任幹事 竹澤 良子	支部役員および施設幹事、病棟連絡員、オブザーバー
10月6日(土) 13:00~16:00	新潟青陵大学	看護記録研修会 「これからのかの看護記録」	聖路加看護大学名誉教授 岩井 郁子	看護職員
10月23日(火)	国会、日本看護 協会ビルなど	国会見学 「国会で議員の講演を聴き、最新の政治情勢をキャッチしよう」	清水嘉与子 日本看護連 盟会長、あべ俊子衆議院 議員、高階恵美子参議院 議員他	看護連盟会員 40名(原則として初めて参加する方)
11月3日(土) 13:00~16:00	NICOプラザ (万代島ビル)	看護管理者・看護 教育者セミナー 「管理者、教育者が抱える問題と、未来に向けて今やるべきこと、取り組むべきこと」	日本看護連盟副会長 大島 敏子	・医療・福祉、訪問看護、行政の分野で管理的な立場にある者 ・看護教育に携わる教員 ・医療施設にあっては看護部長(総看護師長)、副看護部長(副総看護師長)、看護師長、副看護師長、主任の職にある者 ・個人会員
平成25年1月頃		新潟県看護協会・ 看護連盟合同研修会	計画中	看護職員および個人会員

ホームページを
ご覧下さい

皆様ぜひ 今すぐアクセスを

新潟県看護連盟

必見情報がいっぱい
ご意見も下さい。

平成24年度 連盟会員募集中です。

看護連盟は看護協会の目的を達成するための政治団体として
今まで組織代表を国政に送り、法律の制定や改正・
労働条件・看護教育の改善に大きく貢献しています。
まだまだ山積する現場の問題
あなたの入会があなたの問題を解決します!!
看護の力を結集し、現場の声を国会にとどけよう。

年会費 日本看護連盟 5,000円
新潟県看護連盟 3,000円
合計 8,000円

随時受け付けています

平成24年7月末
看護協会会員数(7/5現在)
15,279名

看護連盟会員数
2,864名
(18.7%)

日本看護連盟総会で参議院議員選挙候補予定者として「石田まさひろ」氏が満場一致で決定しました。「ベッドサイドから政治を変える!」のスローガンを高く掲げ、看護職の代表を熱伝導で国政の場へ送り出すために、今号は「石田まさひろ」さんを大きく取り上げました。連盟会員全員一致団結して進んでいきましょう。

残暑厳しく体調管理が大変ですが、十分な睡眠と適度な運動、栄養管理で健康を維持しましょう。

【広報委員】 池田 則子(信楽園病院) 牧野 知津子(厚生連魚沼病院) 丸山 明人(三島病院) 中村 政浩(長岡療育園)